

平成26年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 学校・家庭教育支援の充実
-----	----------------

施策主管課	生涯学習課	総合計画記載頁	106ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲をもって地域のための活動に取り組んでいます。
------	------------------------	----------------	-------------------	---------------------	---

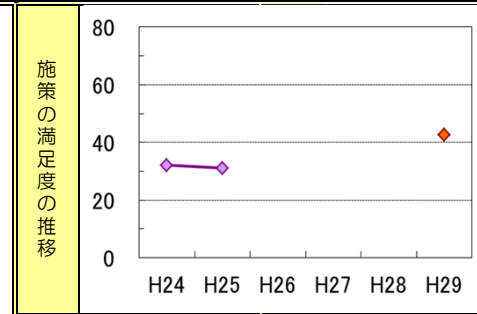
2 施策の取組状況

施策目標	学校や家庭などが連携し、地域をあげて子どもの育成に関わっています。
------	-----------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数(人)	単年度目標値	17,016	19,862	23,324	27,200	31,888			37,438	A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	32.1%	31.0%		
	現状値	14,716人	実績値	16,907	23,216					目標値(H29)	42.6%			前年度からの増減		-1.1%			
	目標値(H29)	37,438人	単年度の達成度	99.4%	116.9%					③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)								B	
指標2	魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動数(事業数)	単年度目標値	830	850	870	890	910	930	A	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
	現状値	807	実績値	842	865							中核市平均	0.95	0.98					
	目標値(H29)	930	単年度の達成度	101.4%	101.8%							実績値	1.03	1.52					
			単年度目標値								中核市での本市の順位	14位/41市中	12位/41市中						
			現状値	実績値							中核市平均								
			目標値(H29)	単年度の達成度							実績値								

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減進型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の第2期教育振興基本計画において、「学校支援地域本部」、「放課後子ども教室」などの取り組みを平成29年度までに全国の小・中学校区に構築し、質の高い学校教育の実現を図るとしている。また、地域の教育資源を結びつけ、多様な人々のネットワーク・協働体制を確立し、学習機会の充実やコミュニティの協働による家庭教育支援を強化するとしており、本市においても、地域の教育力を向上させるため、学校・家庭・地域の連携した取組を支援していく。</li> <li>「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から導入されるに伴い、新たな対応が求められている。</li> </ul>	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携・協力を進めながら、家庭教育や学校教育の支援の充実に取り組み、地域の教育力向上を推進してきたところであり、市民満足度は概ね前年度どおりとして推移している。</li> </ul>	総合評価	83点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数については、平成24年度に14校、平成25年度に4校で教室を立ち上げ、地域で子どもを育む環境づくりを推進してきたことにより、目標値を大幅に上回ることができている。</li> <li>魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動数については、地域コーディネーターの配置促進に取り組んできたことにより、目標値を上回ることができている。</li> </ul>				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業 ※	事業が属する総合計画の構成事業名	事業内容		事業の進捗状況	H25事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	魅力ある学校づくり地域協議会活動推進事業	○★	・魅力ある学校づくり地域協議会への支援充実	魅力ある学校づくり地域協議会	地域人材や施設の有効活用, 市民協働による児童生徒の安全確保や健全育成, 学校施設を活用した地域活動の活性化などの推進	計画どおり	36,702	H18	独自性	各小中学校を拠点に, 学校, 家庭, 地域, 企業が連携・協力しながら, 地域の教育力を生かした学校教育への支援と家庭地域の教育力向上のための活動を充実させていくとともに, 「地域とともにある学校」に向けた取組の充実を図っていく。
2	家庭の教育力向上事業の推進	○★	・親学の推進	主に保護者, 未来の親(中学生・高校生等), 家庭教育支援団体, 企業	親学出前講座の実施, 親と子どもの情報誌の発行, 家庭教育サポーターの養成, 市P連・企業との連携等	計画以上	3,167	H19	先駆的	家庭や地域における教育力の低下が憂慮される中, 家庭教育支援の柱である親学の推進は非常に重要である。今後も親学出前講座や親学情報誌の発行, 家庭教育に関する啓発事業などを実施するとともに, 講座に参加しない親に対しても周知を図るため, 市PTA連合会等との連携強化や中心市街地などの不特定多数の保護者が集まる場にも出向き親学講座を実施していく。また, 8月には, 著名な講師を招いての「講演会」を開催し, 全市的に親学の浸透を図る。
3	子育て世代対象事業	○★	・家庭教育に関する意識啓発事業の充実	市内に住んでいる乳児～高校生とその保護者	「幼児と親の家庭教育子育て広場」, 「親子チャレンジ教室」などの各種家庭教育講座等の開催	計画どおり	2,506	S24		保護者に対する学習機会や, 仲間との出会いの場となっており, 家庭の教育力向上に大きく貢献している。今後は更に子育てサポート世代に対する教育や支援も充実させるよう検討していくとともに, 幅広い家庭に対して教育・支援ができる仕組みについても併せて検討する。
4	放課後子ども教室推進事業	○★	・宮っ子ステーション事業の推進	市民(児童及び地域住民)	放課後子ども教室の実施	計画より遅れ	81,396	H19		子どもの生きる力を育むため, 地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進し, 全ての小学校区での早期実施を図っていく。今後, 未実施校区に対して, それぞれの立ち上げにあたっての課題を把握し, 学校区ごとの実情に応じた立ち上げ支援を強化していく。
5	子どもの家・留守家庭児童会事業	○★	・宮っ子ステーション事業の推進	留守家庭児童を中心とした地域の小学生及び乳幼児とその保護者	乳幼児とその保護者への交流の場, 留守家庭児童への遊び場, 居場所の提供	計画どおり	370,681	S41	独自性	平成27年度から導入される「子ども・子育て支援新制度」に適切に対応し, 利用児童の良好な生活環境を確保するため, 子どもの家等事業の更なる充実を図っていく。
6	子どもの家建設・整備費	○	・宮っ子ステーション事業の推進	留守家庭児童を中心とした地域の小学生及び乳幼児とその保護者	子どもの家施設の整備, 及び改修, 修繕, 設備等の新增設	計画どおり	89,559	S41		子どもの家施設の整備については, 整備場所や手法について十分な検討を行いながら, 今後とも計画的な整備に努め, 「子ども・子育て支援新制度」実施後の利用児童数の増加に適切に対応していく。
7	地域の教育力向上事業の推進		・地域教育力向上啓発事業の充実	地域の大人	地域の大人による教育活動を促す啓発や活動支援	計画どおり	25	H18		地域の大人による地域ぐるみでの子どもを育む活動を促すとともに, 活動に関わる大人同士の交流の機会とすることを目的に「ラジオ体操講習会」を実施し, 併せて, 子どもの生活リズムの向上に資する。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆放課後子ども教室推進事業については, それぞれの未実施校区での立ち上げに関する課題の把握, 学校区ごとの実情に応じた立ち上げ支援の強化が課題となっている。</li> <li>◆子どもの家・留守家庭児童会事業については, 平成27年度から「子ども・子育て支援新制度」が導入されるため, 事業の実施場所の確保, 指導員の確保策の整備などが喫緊の課題となっている。</li> </ul>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆家庭を取り巻く環境の多様化や地域社会の変化を踏まえ, 「家庭教育の支援」, 「学校教育との連携」や家庭・学校を含む地域における教育活動への支援に取り組んでいく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆魅力ある学校づくり地域協議会活動推進事業については, 各小中学校を拠点に, 学校, 家庭, 地域, 企業が連携・協力しながら, 地域の教育力を活かした学校教育への支援, 家庭地域の教育力向上のための活動を充実させ, 「地域とともにある学校」の充実強化に向け取り組んでいく。 ◆家庭の教育力向上事業の推進については, 今後も親学出前講座や親学情報誌の発行, 家庭教育に関する啓発事業などを実施するとともに, 講座への参加が困難な親への対応など, 事業の拡大に取り組んでいく。 ◆子育て世代対象事業については, 子育てサポート世代に対する教育や支援も充実させるよう検討していくとともに, 幅広い家庭に対して教育・支援ができる仕組みについても併せて検討していく。 ◆放課後子ども教室推進事業については, 地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを推進するため, 未実施校区の立ち上げ支援を強化し, 全ての小学校区での早期実施を図っていく。 ◆子どもの家・留守家庭児童会事業については, 平成27年度から導入される「子ども子育て支援新制度」へ適切に対応し, 利用児童の良好な生活環境を確保するため, 子どもの家等事業の更なる充実を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>